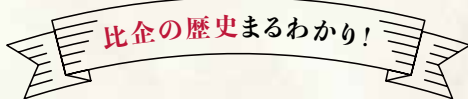


大河ドラマ
「鎌倉殿の13人」
比企市町村推進協議会企画



9市町村広報リレー

◆ 第一回 ◆
滑川町版

比企9市町村にはそれぞれ魅力ある史跡や観光スポットがあります。
毎月1市町村ずつ特集をして比企の魅力を余すことなくお伝えします。
記念すべきスタートは、「滑川町」です。



滑川町には三門館跡がある



三門館跡は和泉にある泉福寺より東に約200mの位置にあります。この館跡は発掘調査などが行われていないため詳細はわからず諸説ありますが、源頼朝の父である義朝などに仕えた比企遠宗の館ではないかとする説があります。館跡は、北西と南東に2つの丘陵があり、その間の四方約200mの範囲が館の敷地であったとされています。北西・南東の丘陵上、北東の谷部の3方を空堀と土塁で囲っていたとされ、現在はその一部の空堀と土塁が残っています。特に北西側の空堀は良く残っており、丘陵上を南北に180m延び、東へ折れ50m程で丘陵裾まで達しておりこの部分がかつては南東の空堀までつながっていたとみられます。

源頼朝は滑川産の米を食べていた？

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で登場するのが比企遠宗の妻の比企尼と比企尼の養子で比企氏の家督を継いだ比企能員です。比企尼は頼朝が産まれた際に乳母を務め、平治の乱（1159年）で源氏が平氏に敗れ、頼朝が伊豆に配流^{はいる}になってから、平家打倒のため挙兵するまでの約20年にわたり米などを送り一切の面倒を見たと言われ、その米がこの館近辺から送られていたのではないかとする説もあります。滑川町には古くから大小200ものため池があり、沼の水を使った米づくりが昔から盛んに行われてきました。里山に包まれた冷たい沼水と、昼夜の寒暖差の大きい谷津で作る米は、滑川町特有の粘土質の土壌と相まって、大変おいしいお米と評判です。頼朝もこの「谷津田米」に舌つつみを打ったのでしょうか。



問 総務政策課 企画調整担当 ☎56-6910

次回

鎌倉時代の史跡が多くある「東松山市」です。

編集後記

東京2020パラリンピック聖火リレー（P12）取材で、ランナー・野村史和さんが力強く立ち、自らの手で聖火を持つ姿に強く心惹かれました。野村さんは小学校教員でしたが、脳出血により約2年前まで寝たきり状態に。「歩く姿を通して生徒に希望を伝えたい」の一心でリハビリに励んだそうです。後遺症で話すことが難しいなか、最後のインタビューでの「ありがとう」の言葉は心に届きました。有言実行の勇姿は、きっと、誰かの光となったでしょう。（田中）

町の動き ()内は前月比

人口	19,598(～11)
男	10,019(～11)
女	9,579(± 0)
世帯数	8,055(～14)

※令和3年8月1日現在